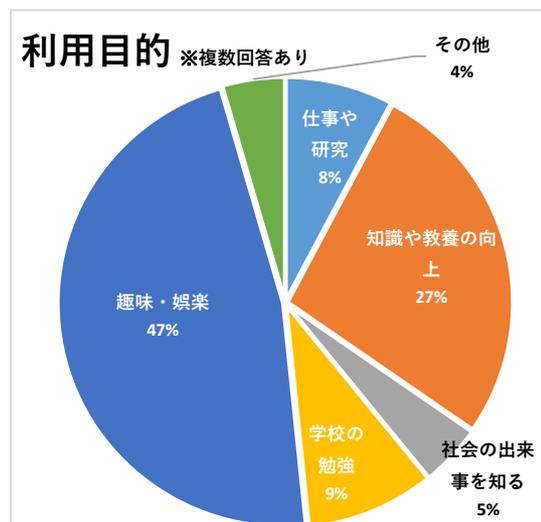
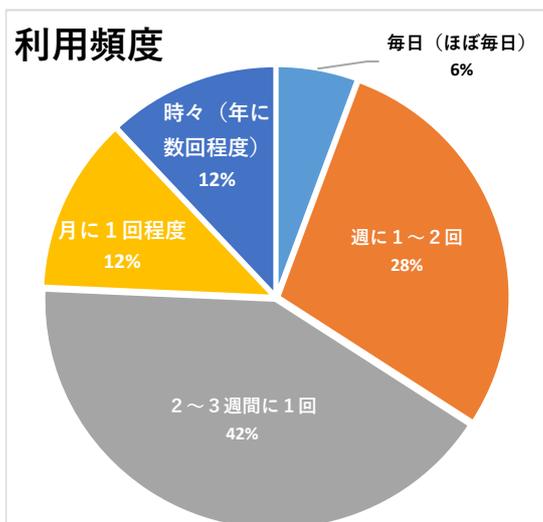


令和4年度三原市立図書館利用者アンケート（概要版）

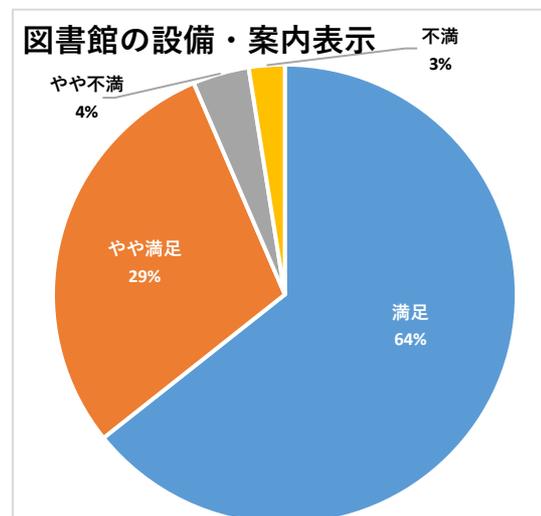
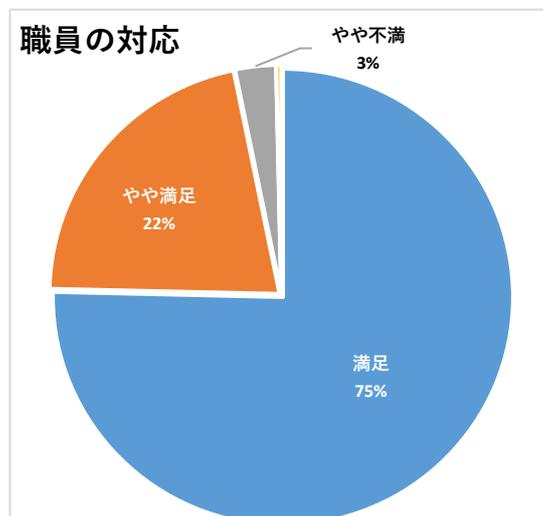
実施事項

- ・実施期間 令和5年1月16日～令和5年2月13日
- ・実施施設 中央図書館 本郷図書館 久井図書館 大和図書館
- ・アンケート方式 無記名方式
アンケート用紙またはWEBアンケートへの回答
※無回答の項目は、集計数から除外
- ・全館回収数 288通

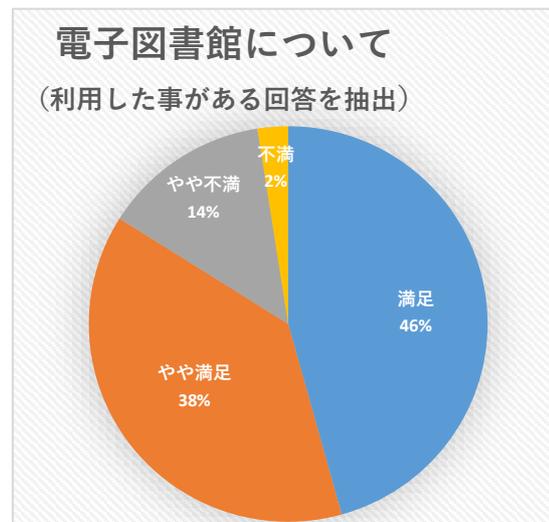
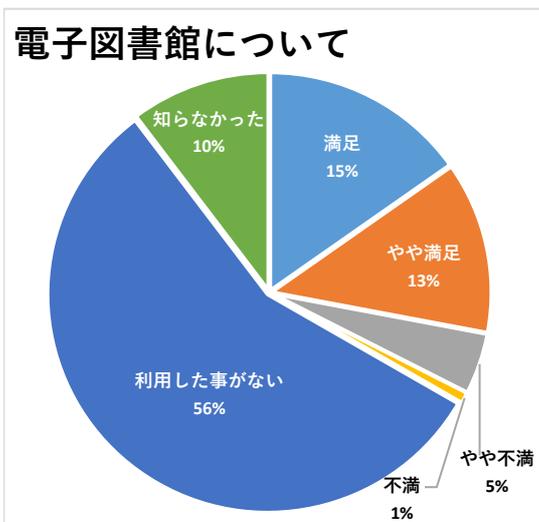
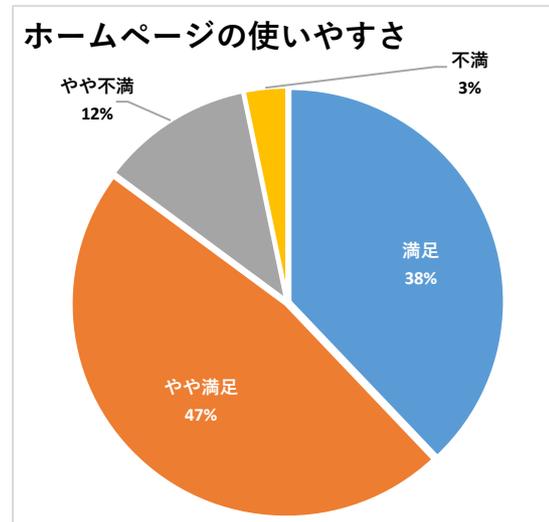
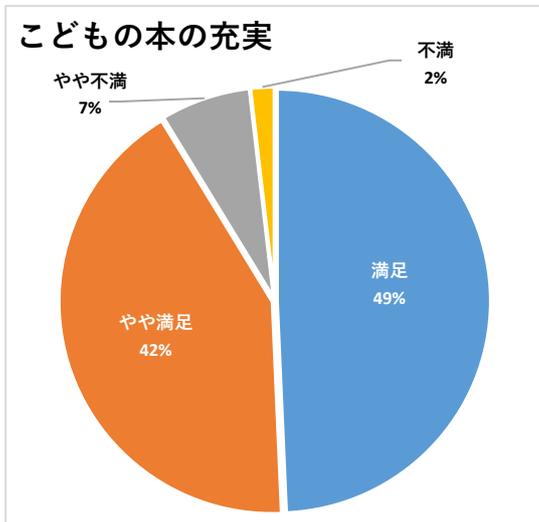
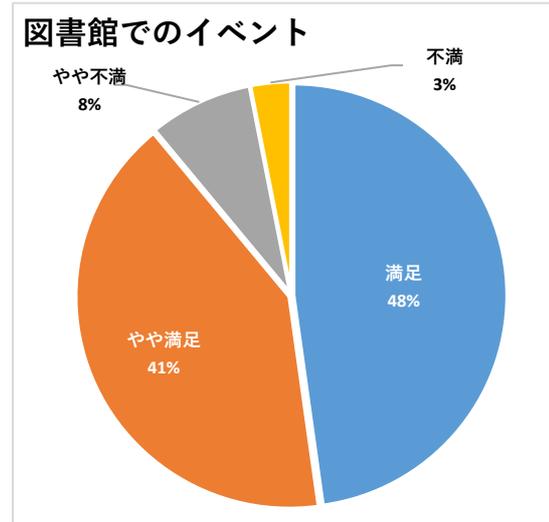
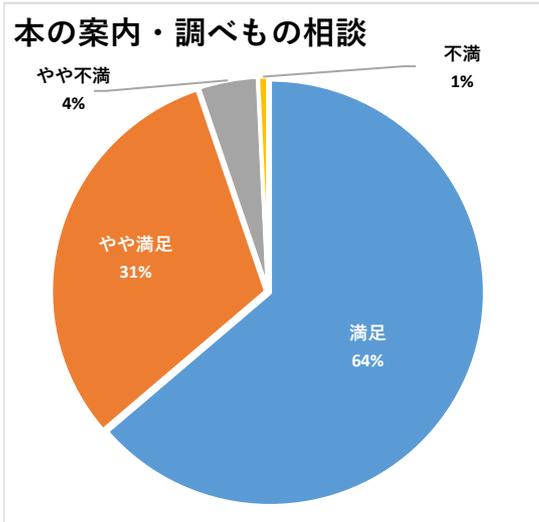
【三原市立図書館の利用について】



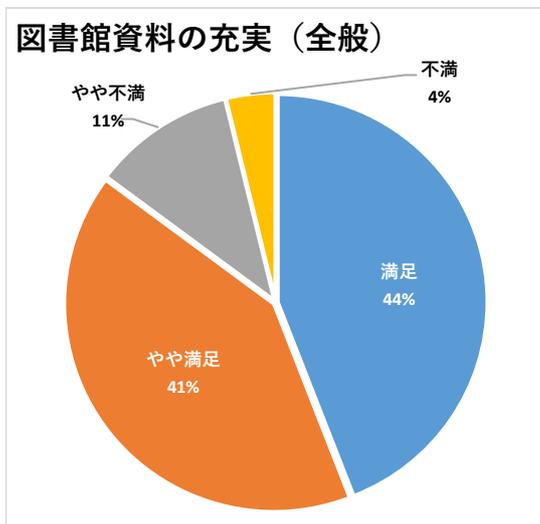
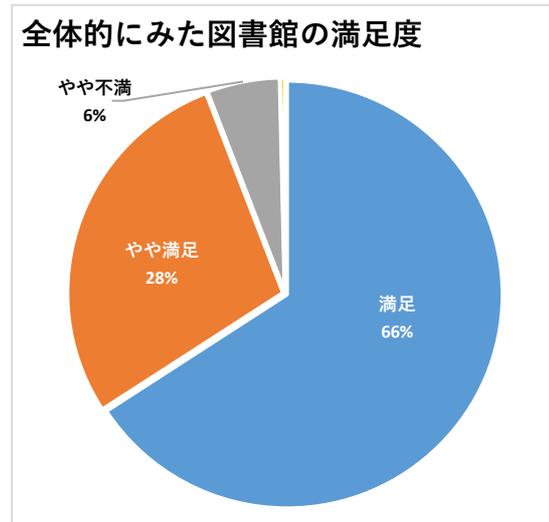
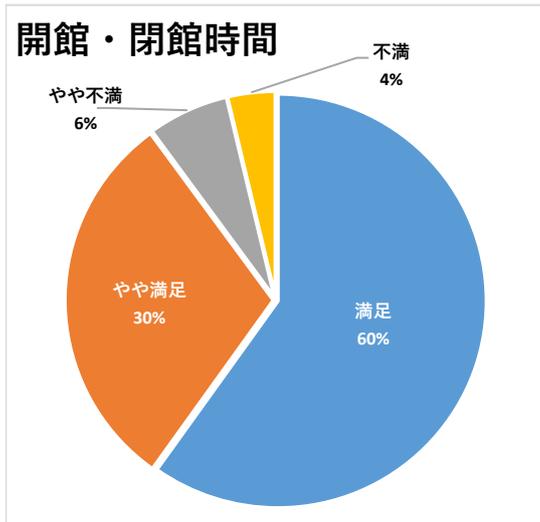
【三原市立図書館の満足度について】



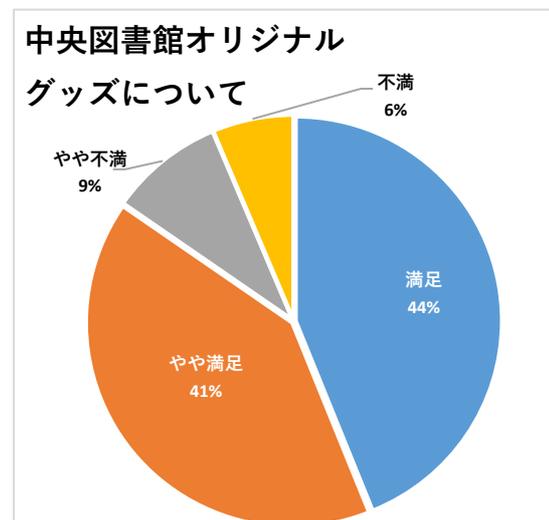
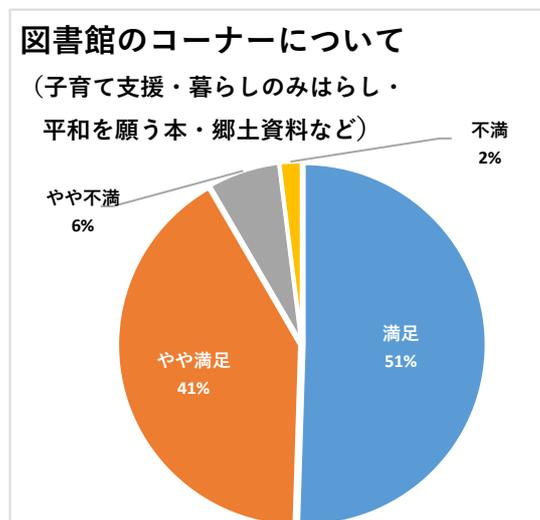
【三原市立図書館の満足度について】



【三原市立図書館の満足度について】

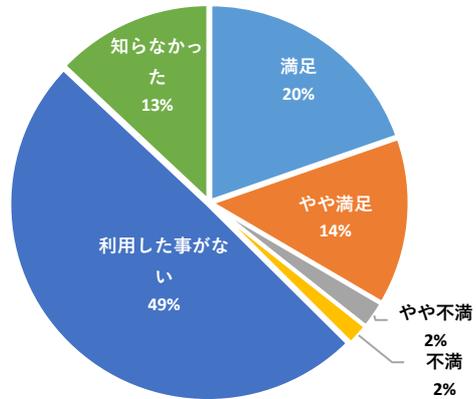


【中央図書館のサービスについて】

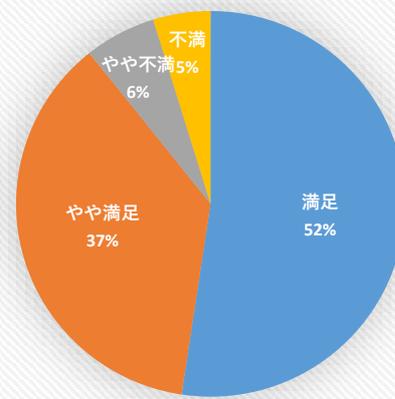


【中央図書館のサービスについて】

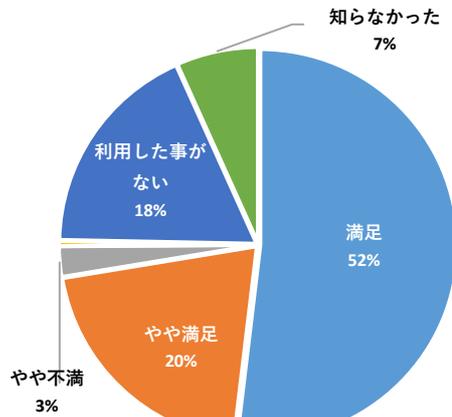
フライヤー（ビジネス書要約サービス）について



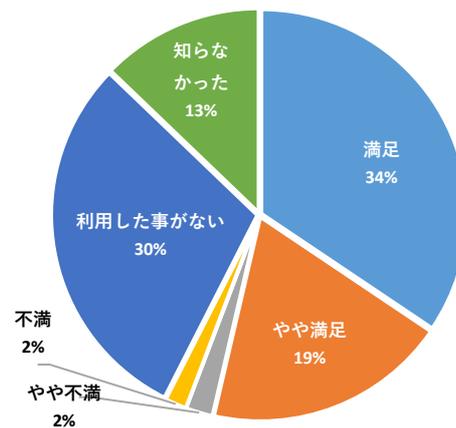
フライヤーについて
(利用した事がある回答を抽出)



自動貸出機について



予約棚（セルフ貸出）について



●令和4年度アンケート報告

●アンケート分析

前年度から取り組んだ課題						
デジタルコンテンツ (フライヤー・電子図書館) の利用促進	<p>フライヤーの利用促進の取り組みでは、中央図書館2階のビジネス書コーナーの展示を書籍紹介とフライヤーサービスの案内が同時に目に留まるように工夫した。とりわけ今後も利用数を伸ばすためには、新規の利用者層にアプローチする必要がある。ビジネス書に馴染みが薄い利用者でも、手にとってみたくなるような資料の選定や、フライヤーサービスの説明会の実施等が有効であると推測する。</p> <p>電子図書館については、令和4年度から市内の小学校を訪問し、利用説明会を実施している。アンケート回答の対象に小学生が含まれないため回答割合には反映されていないが、貸出数が倍増していることから若年層への利用促進では一定の成果があったと捉えている。今後は、より幅広い年代での電子図書館の利用を図るために、大人向けの利用説明会や魅力的な電子書籍の選定も並行して行っていく必要があると考える。</p>					
	<p>令和4年度のアンケートでは、幅広い世代からアンケートを募るための方策として、アンケート用紙への記入方式に加えて、WEBアンケートでも回答が行えるように環境を整備した。利用方法と回答フォームへのアクセスQRコードが記載されたポスターを館内に掲示して回答を募った結果、紙媒体とWEB媒体のどちらを利用するか、世代ごとの選択率に大きな差があった。</p>					
幅広い世代からの アンケート		(10代)	(20代)	(30代)	(40代)	(50代)
	紙媒体	52%	25%	80%	82%	87%
	WEB媒体	48%	75%	20%	18%	13%
		(60代)	(70代)	(80代以上)		
	紙媒体	83%	98%	100%		
	WEB媒体	17%	2%	0%		
<p>概ねの選択率は、年配層になるほど紙媒体が高く、若年層になるほどWEB媒体が高い。そのため若年層の回答を募る方策としてWEBアンケートの導入は有効であったと考える。今後も幅広い世代からアンケートを募るために、落ち着いて用紙に記入できるスペースと、筆記用具がなくとも省スペースで回答が行えるWEBアンケートの利便性等を考え、ポスターの掲示場所を工夫するなど、回答場所の環境作りが必要である。あわせてアンケートへの協力の呼びかけや、WEB回答方式の周知なども積極的に行っていく。</p>						

●令和4年度アンケート報告

●アンケート分析

今後取り組むべき課題	
利用率の定着	<p>令和4年度と前年度のアンケートで大きく回答割合が変わった設問として利用頻度が挙げられる。利用率が向上した背景としてコロナ禍の影響が落ち着き始め、気兼ねなく図書館を利用できる状況になったことが大きいと推測する。貸出者数、各サービスの利用者数も増加しており、図書館の需要が高まっていると考えられる。</p> <p>そのため今後もリピーターとして定着してもらうため、利用者にとって楽しいと思えるような各種イベントの開催や、新しい知識やツールとの出会いになるような講習会・説明会の実施、多彩な資料の選定、書籍が魅力的に見えるような書架の構築、時事や季節等に応じた本の展示など、足を運んで良かったと思えるような図書館づくりに注力していく。</p>